

なるほど!



わかった!

# 戸田市の財政

平成27年度



# はじめに

私たちは、普段の生活の中で、市から様々な行政サービスを受けています。例えば、公園や道路、子育てに介護、ごみの収集と、どれもこれも生活に密着したものばかりです。そして、それらにかかる費用の多くは、皆さんからお預かりした税金で賄われています。つまり、行政サービスは無料ではありません。

だからこそ、戸田市の財政状況はどうなっているのか、大切なお金がどのように使われているのかを、皆さんに知っていただくことが必要です。

戸田市はこれまで、戸田競艇があること等から「財政的に余裕がある」というイメージを持たれてきました。ですが、本当にそうなのでしょうか。この冊子を読めば、戸田市の本当の姿がお分かりいただけると思います。

「財政」と聞くと、少し堅苦しく感じるかもしれません。この「なるほど!わかった!戸田市の財政」では、戸田市の財政状況やお金の使われ方について、できるだけ分かりやすくまとめてみました。

一人でも多くの皆さんにお読みいただき、戸田市の将来について考えるきっかけとなれば幸いです。

さあ、戸田市の未来を想像してみませんか？

戸田市の  
財政案内人 「おさいふくん」



# もくじ

<b>第1章 戸田市の財政について考えてみよう</b> .....	2
① 市の仕事と財政 .....	2
② 予算を見てみよう～平成27年度予算～ .....	4
③ 決算を見てみよう～平成26年度決算～ .....	9
④ 戸田市のこれからはどうなるの？ ～「中期財政計画」による将来の見通し～ .....	16
<b>第2章 戸田市は普通交付税をもらってないけど...</b> .....	18
<b>第3章 ファシリティマネジメントについて</b> .....	20
<b>第4章 住みよいまちづくりへの取り組み</b> .....	22
目指せ！健康寿命アップ！ .....	22
補助金の積極的獲得 .....	24
現在行われている事業をみてみよう .....	25
<b>おわりに</b> .....	29

# 第1章 戸田市の財政について考えてみよう

## ① 市の仕事と財政

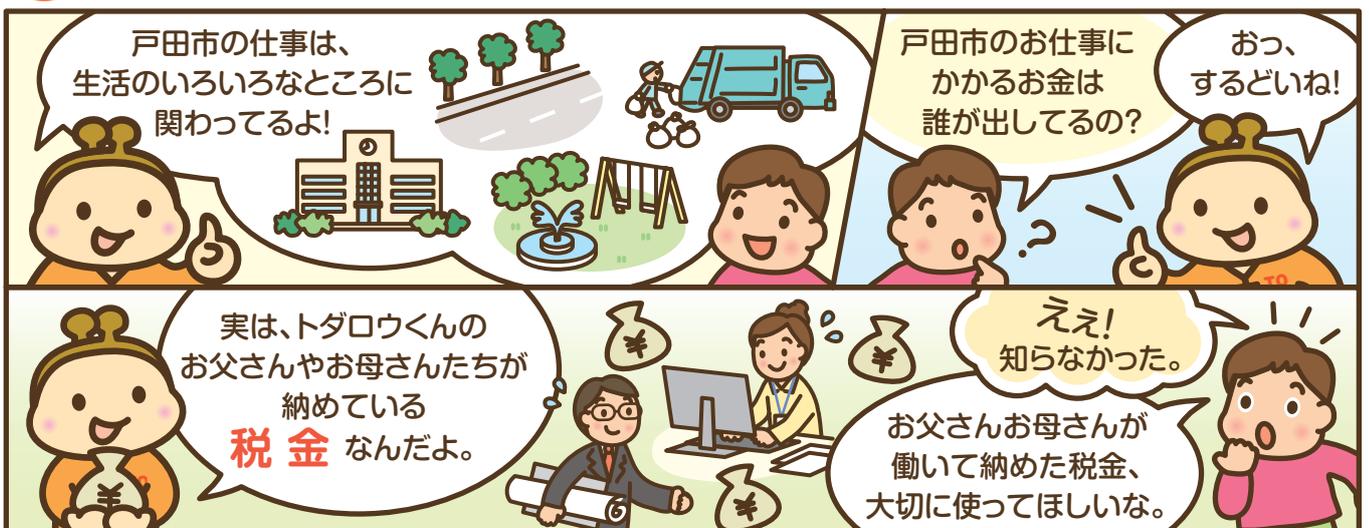
### Q 財政って何だろう？



**A** 戸田市の仕事にかかるお金の使い道を決めたり、使えるお金がどれくらい集まるかを予測したり、予定通りにお金を使ったかを確認したりすること、これらを「**財政**」と言います。



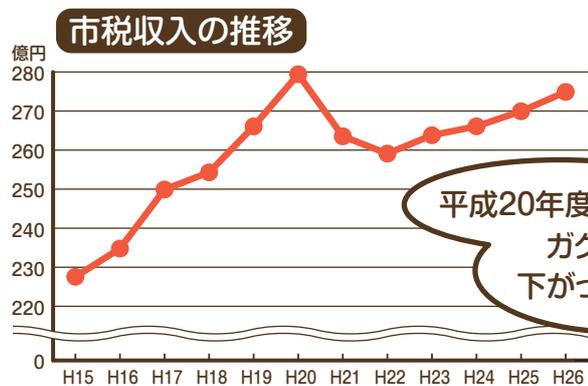
### Q 使うお金はどうやって集めるの？



**A** 使うお金の約56%は**税金**(市税)でまかなわれています。(平成27年度予算)

他には、国・県からもらうお金、銀行などから借りるお金、公共施設の使用料などがあります。

それじゃあ、市税の推移を  
見てみよう。



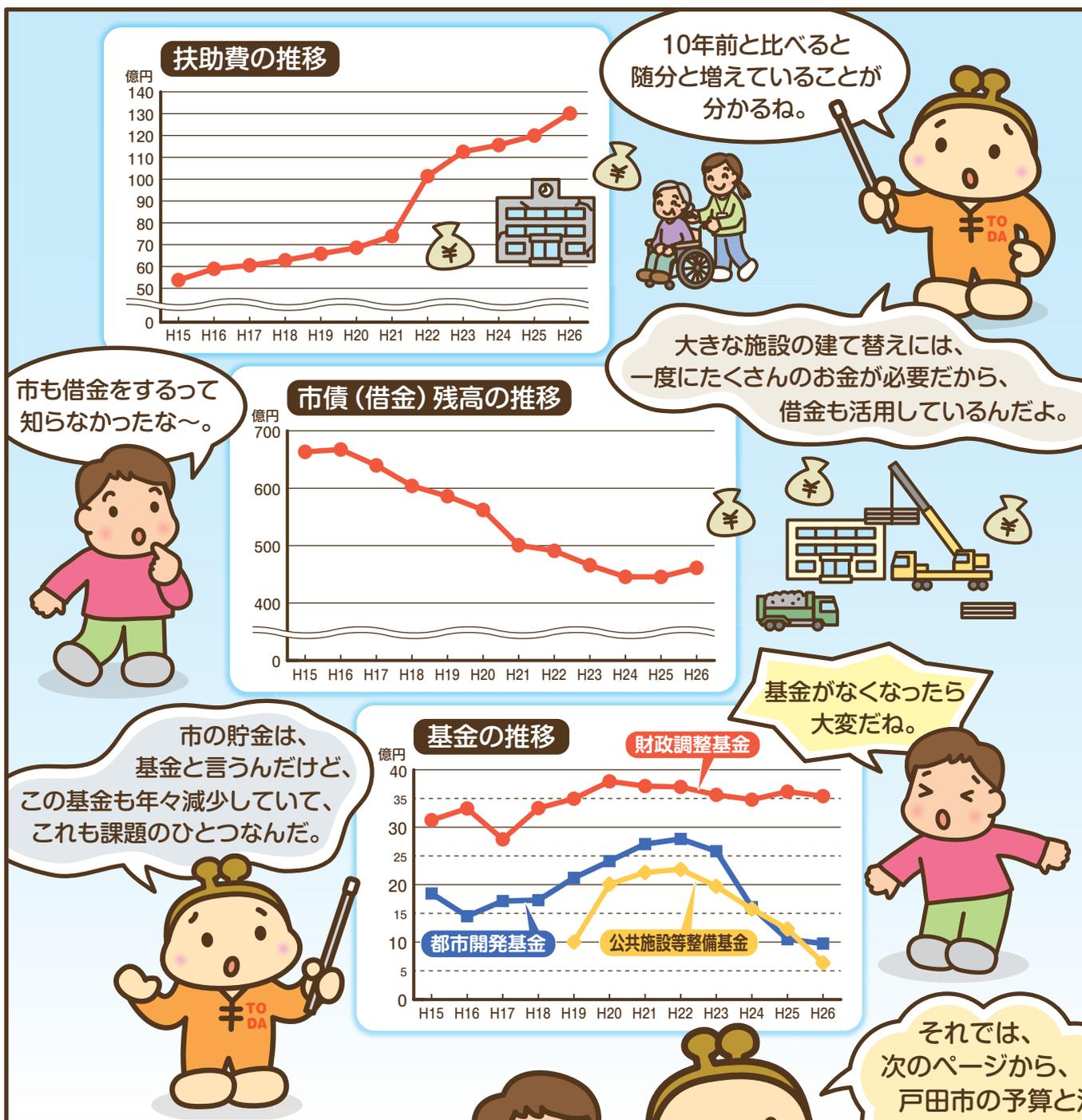
平成20年度を境に  
ガクッと  
下がっているね。

平成20年は  
世界的な金融危機があったんだよ

# Q 戸田市のお金は足りているのかな？



**A** 公共施設の老朽化への対応や、福祉に必要なお金が増えていることで、財源の確保が厳しくなっています。不足する財源は、**市債**（借金）や**基金**（貯金）の取崩しまかっています。

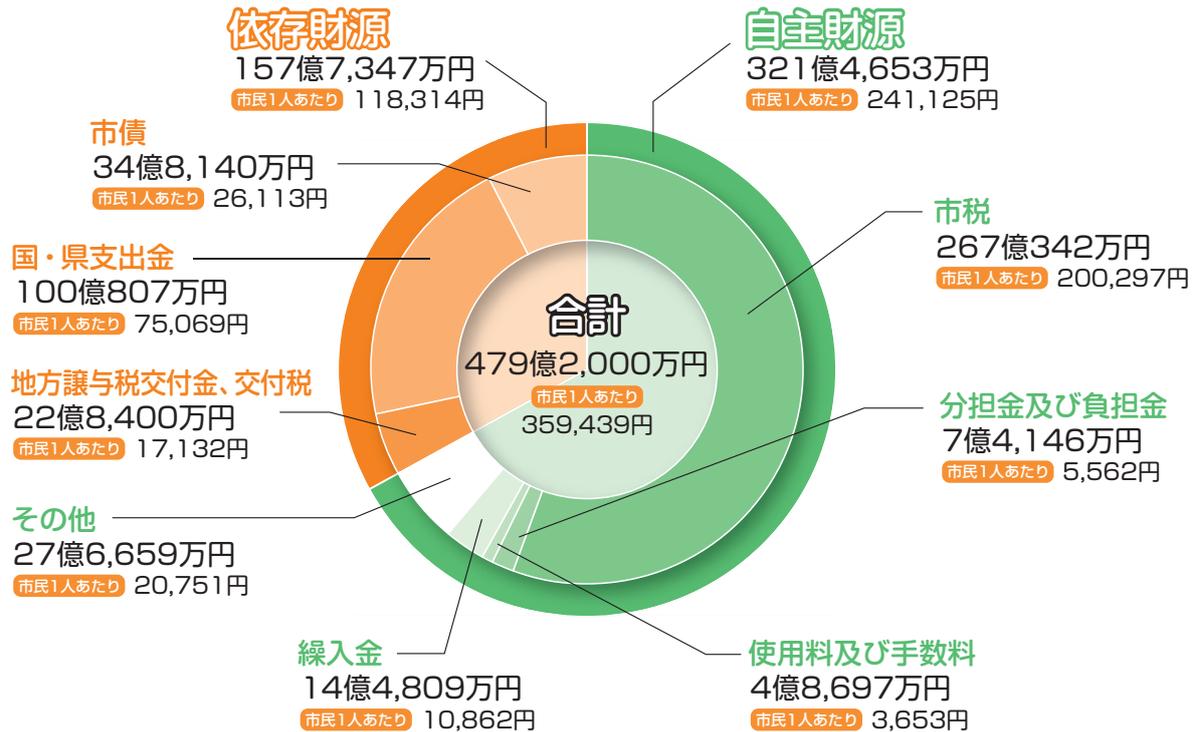


## ② 予算をみてみよう ～平成27年度予算～



まずは、平成27年度の歳入（収入）予算と歳出（支出）予算をみてみましょう。

### ● 一般会計 平成27年度歳入予算



#### 依存財源

##### 市債

銀行などからの借入れ(借金)です。

##### 国・県支出金

国・県から市が特定の事業を実施するための負担・補助として交付されます。

##### 地方譲与税、交付金、交付税

市民の皆様が国や県に納めた税金の一部です。使い道は自由です。

#### 自主財源

##### 繰入金

各種基金(貯金・運用金)を取り崩してお金を使います。

##### その他

寄付金、不動産の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。

##### 市税

市民の皆様から戸田市に納めていただいた税金です。

##### 分担金及び負担金

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

##### 使用料及び手数料

市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。

※市民1人当たりの金額は、平成27年度歳入予算額を平成27年4月1日現在の人口133,319人で割って算出しています。

## 市税について

市税は市が行う仕事を支えるとても重要な財源で、平成27年度では、歳入予算の56%を占めます。



**Q** 税金にはどんなものがあるの？

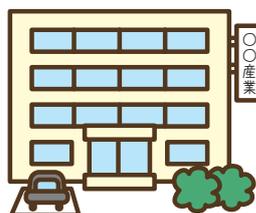
**A** 戸田市に直接納めてもらう税(市税)には、以下のものがあります。



### 個人市民税

平成27年度予算  
91億239万円

市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。



### 法人市民税

平成27年度予算  
22億3,537万円

戸田市内の法人が収益などに応じて納める税です。



### 固定資産税

平成27年度予算  
124億8,701万円

土地や家屋などを所有している方が納める税です。



### 軽自動車税

平成27年度予算  
7,986万円

軽自動車などを持っている方が納める税です。



### 市たばこ税

平成27年度予算  
10億3,548万円

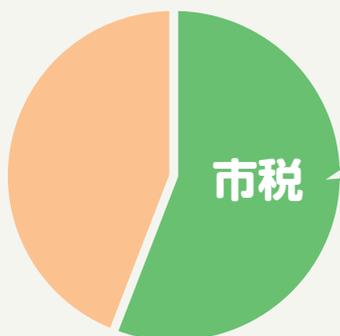
たばこを買った方が納める税です。



### 都市計画税

平成27年度予算  
17億6,331万円

市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税です。



市税は歳入予算の  
**56%**を  
占めています。

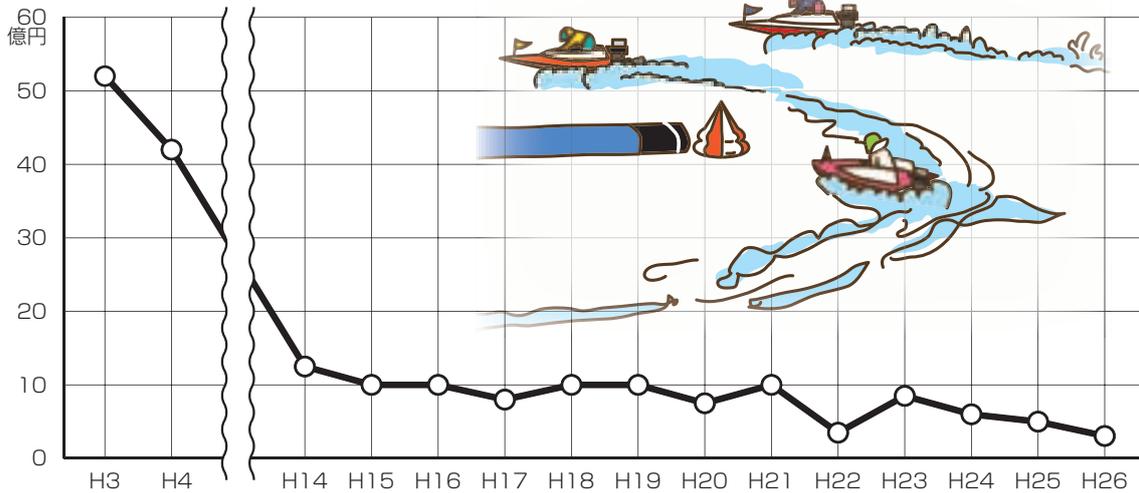
市税によって支えられているんですね。



## 競艇配分金について

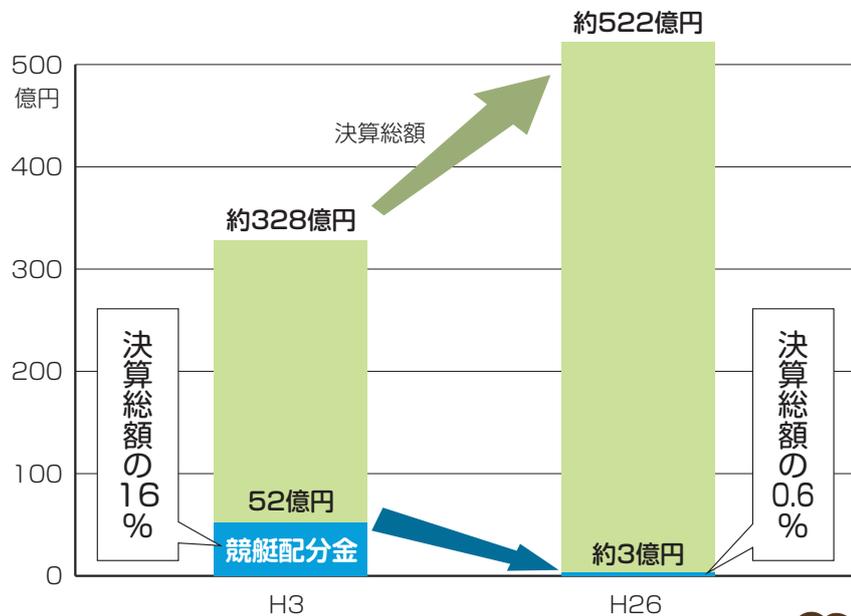
### 競艇配分金の推移(決算額)

戸田市は競艇の収入があるから大丈夫とよく言われますが、近年、競艇配分金は少なくなってきています。競艇配分金は諸収入に該当します。



### 決算規模と競艇配分金の変化

決算の総額は増えているのに、競艇配分金はすごく減っているね。



昭和50年代には、決算総額の3分の1近くを競艇配分金が占めていたときもありました。しかし、今後は増収が期待できないため、配分金が豊富な時代に始めた事業を見直していく必要があります。

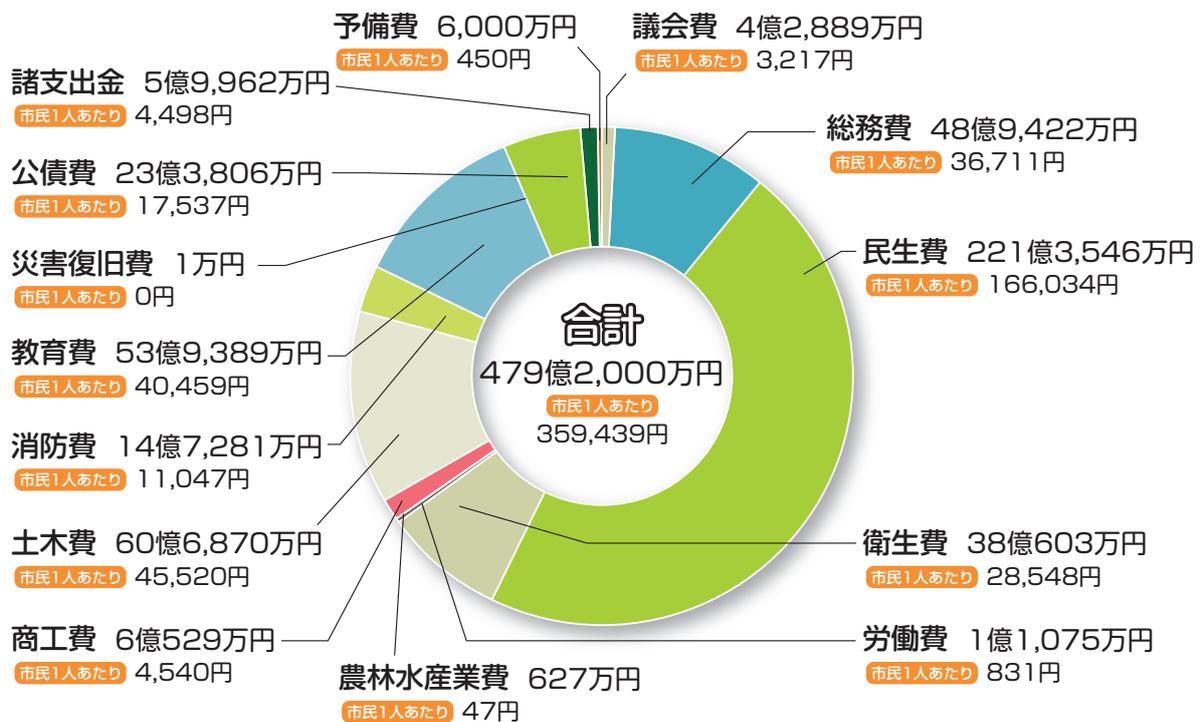




## 支出(歳出)をみてみよう

集めたお金は福祉や教育、まちづくりや安全など、目的に分けて使われています。

### ● 一般会計 平成27年度歳出予算



#### 災害復旧費

大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧にかかる経費です。

#### 農林水産業費

農林漁業の振興、技術の普及などにかかる経費です。

#### 議会費

議員の報酬や議会事務局の人件費、議会運営などにかかる経費です。

#### 公債費

事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金です。

#### 商工費

商工業の振興、技術の普及などにかかる経費です。

#### 総務費

庁舎などの管理、企画調整、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍住民基本台帳、選挙など市役所の全体的な事務にかかる経費です。

#### 諸支出金

他の支出科目に含まれない経費です。

#### 土木費

道路・河川・住宅・公園などの整備や、これらの施設の維持管理にかかる経費です。

#### 民生費

児童、高齢者、心身障害者などの社会福祉施設の管理運営や生活保護などにかかる経費です。

#### 予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費です。

#### 消防費

火災、風水害、地震等の災害から市民を守るための経費です。

#### 衛生費

医療、公衆衛生費、ごみなどの一般廃棄物の収集運搬処理などにかかる経費です。

※市民1人当たりの金額は、平成27年度歳出予算額を平成27年4月1日現在の人口133,319人で割って算出しています。

#### 教育費

学校教育、社会教育などの教育行政(学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など)にかかる経費です。

#### 労働費

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費です。

## 家計簿にたとえてみると…

家庭と市役所ではお金の使い道が違うので単純に比べられません。例えば戸田市の予算を年収480万円の家計(月収40万円)にたとえてみるとこうなります。

家庭の収支



戸田市の予算



### 収入 (月)

給料	22万3,000円
パート収入	1万円
預金の取り崩し	1万2,000円
その他臨時収入	10万3,000円
借金	2万8,000円
前月からの繰越	2万4,000円
合計	40万円

### 支出

食費	6万0,000円
医療費・保育料	11万2,000円
光熱水費や衣料に	8万0,000円
家の増築、修理、家財購入	4万4,000円
住宅ローン返済	2万0,000円
子どもへの仕送り	8万0,000円
貯金・貸付金	4,000円
合計	40万円

### 収入 (年)

市税	267億0,342万円
使用料・手数料・諸収入など	12億2,843万円
基金繰入金	14億4,809万円
国・県支出金など	122億9,207万円
市債	34億8,140万円
繰越金	27億6,659万円
合計	479億2,000万円

### 支出

人件費	73億1,067万円
扶助費	131億4,585万円
物件費	95億7,604万円
投資的経費・維持補修費	54億5,335万円
公債費	23億3,806万円
繰出金・補助費など	95億2,635万円
積立金・貸付金	5億6,968万円
合計	479億2,000万円

支出では医療費や保育料、光熱水費や子どもへの仕送りなど、節約が難しい経費が多く割合を占めています。

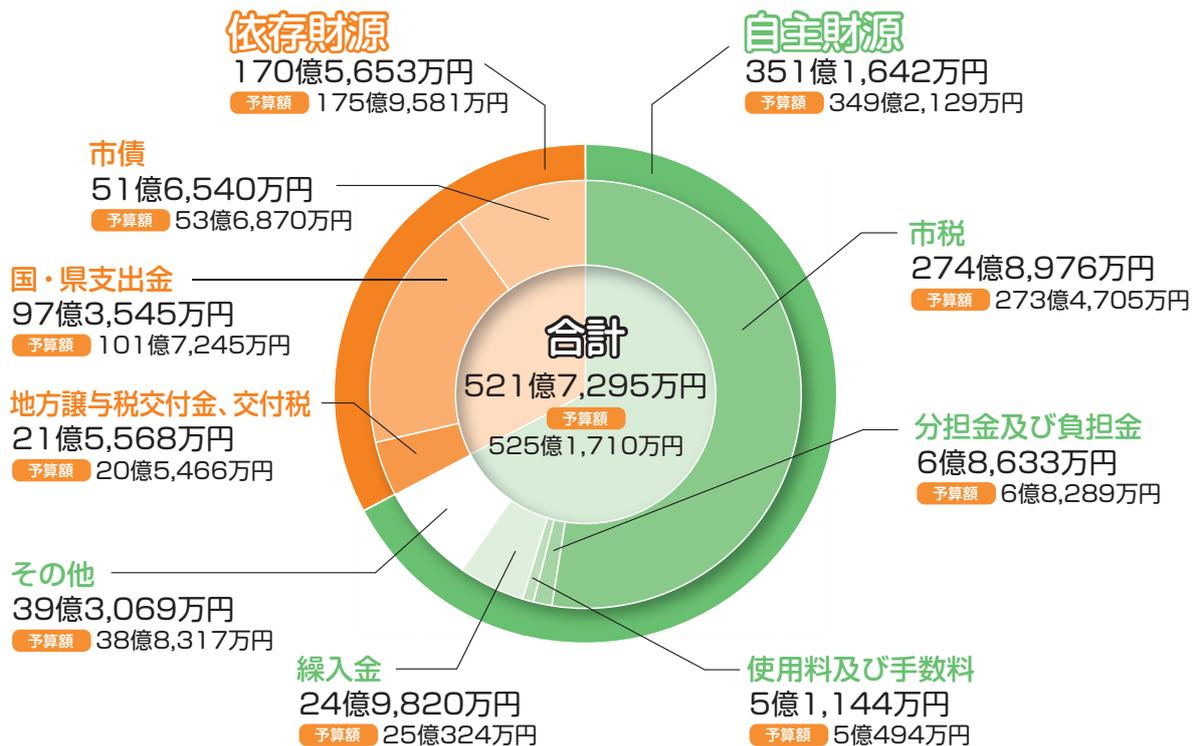


### ③ 決算をみてみよう ～平成26年度決算～

「予算」をきちんと予定通り使ったか確認することが決算だったね。一番大きな一般会計のお財布で平成26年度の決算をチェックしてみよう。



#### ● 一般会計 平成26年度歳入決算



#### 依存財源

**市債**  
銀行などからの借り入れ(借金)です。

**国・県支出金**  
国・県から市が特定の事業を実施するための負担・補助として交付されます。

**地方譲与税、交付金、交付税**  
市民の皆様が国や県に納めた税金の一部です。使い道は自由です。

#### 自主財源

**繰入金**  
各種基金(貯金・運用金)を取り崩してお金を使います。

**市税**  
市民の皆様から戸田市に納めていただいた税金です。

**その他**  
寄付金、不動産の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。

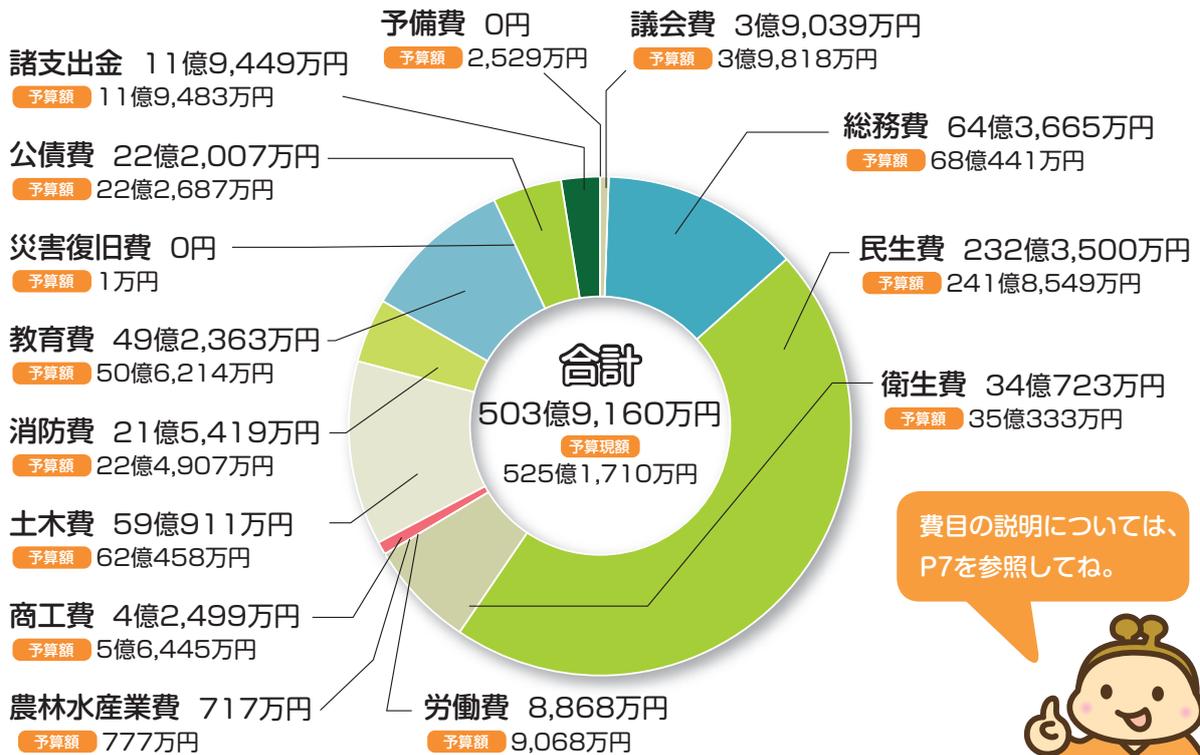
**分担金及び負担金**  
事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

**使用料及び手数料**  
市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。

収入はほぼ予定通りですね。収入のうち、自主財源は約67%を占めます。自主財源の比率が高いほど、安定的だと言えます。  
 今度は支出(お金の使い道)を確認してみましょう。



● 一般会計 平成26年度歳出決算



費目の説明については、P7を参照してね。



COLUMN  
コラム

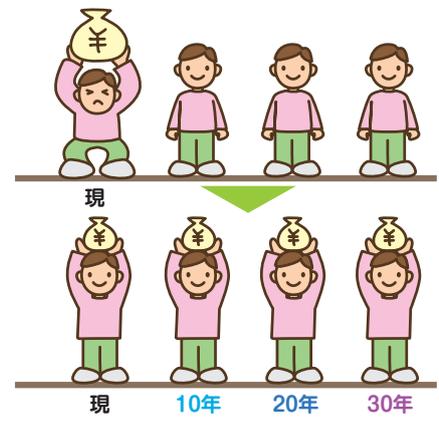
どうして 借金をするのかな？

市債(借金)を活用して事業を行うには、二つの理由があります。

- 現在の市民と、将来の市民の負担を公平にするため
- 毎年の支出を平均するため

公共施設は、現在の市民だけではなく、将来の市民も使っていくものです。そのため、施設をつくる年の市民が建設費用を全て負担すると、不公平になります。市債を分割払いすることで、将来の市民にも公平に費用を負担してもらうことができます。

また、公共施設の整備には多額の経費がかかるため、一度に支出してしまうと、その年の他の事業ができなくなってしまいます。市債を活用することで、通常の事業と並行して公共施設を整備することができます。



## 平成26年度に行われた主な事業

### こどもの国が生まれ変わりました！

#### こどもの国再整備事業

20億3,850万円(2ヶ年度総額)

旧こどもの国は昭和48年に開館し、スイカの屋根を目印に親しまれてきましたが、施設の老朽化のため、平成24年12月24日をもって閉館しました。そして、児童館、保育園、学童保育室および幼児・児童用プールから成る複合施設として再整備し、平成27年4月5日にリニューアルオープンしました。貴重な緑や自然豊かな環境を活かし、遊びを通じて、子どもたちの考える力や体力、感性、創造性を育みます。



市債を活用して整備することで、世代間の負担の公平性が保たれます。



#### 【再整備にかかったお金の内訳】

事業費総額	20億3,850万円
一般財源(市税等)	1億2,953万円
国県支出金	5,627万円
公共施設等整備基金	3億3,700万円
市債	15億1,570万円

#### 市債の内訳

平成25年度借入	1億3,570万円
[利率:年0.32% 10年償還]	
平成26年度借入	13億8,000万円
[利率:年0.96% 20年償還]	



## 平成26年度に行われた主な事業(続き)

### 庁舎耐震改修等工事

39億2,637万円(3ヶ年度総額)

戸田市役所庁舎耐震工事では、既存建物の基礎下に免震装置を取り付け、耐震性能を向上させる免震レトロフィット工法を採用しました。

この工法により、庁舎業務を続けながら免震化工事を実施し、来庁者への影響が最小限となるよう庁舎耐震化を完了しました。



設置された免震装置



### ICT機器を活用した教育活動

582万円

市内小・中学校では、タブレット型端末や指導用デジタル教科書等を活用した教育活動を行っています。デジタル教科書には、画像や動画資料が数多く用意されており、大型テレビに映し出すことで、学習内容の理解をより一層深めることができます。“とだっ子”たちの確かな学力を育成するため、「わかりやすく」「楽しく」学べる教育を推進しています。



### 彩湖・道満グリーンパーク テニスコート改修 1億438万円

コート面が劣化して亀裂が生じていましたが、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を活用して、コート9面の改修を行いました。



## 高機能消防指令システム・消防救急デジタル無線システム整備 7億222万円

自然災害の多発や都市構造の変化、ライフスタイルの多様化に伴い、消防ニーズは複雑化・広域化しています。市民の生命・身体・財産を守る消防体制の充実強化を図るため、高機能消防指令センターを整備しました。消防活動をより迅速・適確・確実に行うことが可能となります。



## ボール公園遊具設置(3号公園2期整備)

8,555万円



公園内を高いフェンスで囲まれたボール公園の2期整備として、新たに遊具を設置しました。ボール遊び以外のエリアも充実させることで、多くの親子連れでにぎわう公園となっています。



Pick Up!

### 戸田市の観光・産品・イベント情報に 飛び付く(トビック)!!

戸田公園駅前行政センター 2階には「戸田市観光情報館トビック」があります。トビックでは、観光情報を発信するほか戸田ブランドとして市が認定している優良推奨品など、市を代表する品々の購入ができます。

また、市内の商店や事業者が各種イベント会場や物産販売のスペースとして活用したり、商店のチラシや各種クーポン券などを専用ラックに配架することで、お店の情報発信の場としても利用できます。



# 平成26年度 決算マップ

平成26年度に行った事業を  
地図にしてみました。



## ④ 戸田市のこれからはどうなるの? ~「中期財政計画」による将来の見通し~

戸田市では中期財政計画という、この先5年間の財政収支を見通す計画を毎年作っています。これによって戸田市の財政の現状を把握し、今後の変化を分析しています。それでは、この中期財政計画を中心に、平成32年度までで戸田市の財政がどのようになるのか見てみましょう。

戸田市では、予算を以下の二つに分けて編成しています。

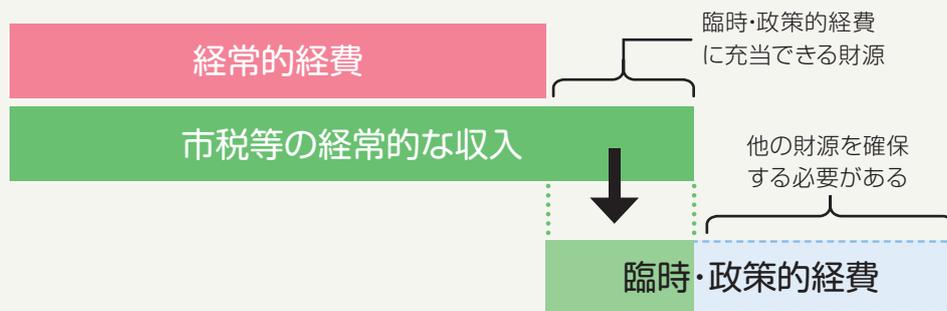
### 経常的経費…

毎年度連続して固定的に支出される経費です。社会保障関連経費、市債(借金)の返済、人件費等があります。

### 臨時・政策的経費…

一時的・偶発的な行政需要に対して支出される経費です。公共施設の建設・改修、都市基盤整備、システム開発等がこれにあたります。

「経常的経費」と「臨時・政策的経費」には以下のような関係があります。



### 臨時・政策的経費に回せる財源の推移

市税等の経常的収入と経常的経費の差額が、公共施設の改修や都市基盤整備等の臨時政策的経費に回せる財源となります。この財源が平成32年度まで以下のグラフのように推移すると見込んでいます。



棒グラフ全体が、市税等の経常的な収入となります。その内、経常的経費の占める割合が増加することで、臨時・政策的経費に回せる財源は減少していきます。平成22年度では約42億円あったものが、平成32年度には約8億円にまで減少する見込みとなっています。

家計に例えると、毎月の給料から生活費を差し引いた残りのお金だね。



## Q 経常的経費は、なぜ増えていくのかな？

A 経常的経費が増えていく主な要因には、以下のものがあります。

### ① 扶助費の増加

扶助費とは、社会保障制度の一環として児童、高齢者、障害者、生活困窮者などに対して行う支援に要する経費のことです。社会状況の変化、景気の低迷等により、近年右肩上がりに増加し続けています。

### ② 特別会計への繰出金の増加

特別会計は、特定の事業のための経費を一般会計とは別に経理するものですが、場合によって一般会計からお金を出すこともあります(特別会計繰出金)。その中でも特に、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計への繰出金が増加する見込みです。

### ③ 公債費の増加

老朽化した公共施設の整備や、土地開発公社の経営健全化に伴う市債の借り入れによって、市債の返済にあてる経費が今後増加する見込みです。

臨時・政策的経費に回せるお金がどんどん減っていくんだね。



## Q 臨時・政策的経費に必要なお金で、足りない分はどうするの？

A 財源の不足分は、市債(借金)や基金(貯金)の取崩しで賄います。平成27年度当初予算では、臨時・政策的経費82.9億円の財源の内、市債が34.8億円、基金が14.3億円となっています。

平成27年度臨時・政策的経費  
約82.9億円の財源内訳

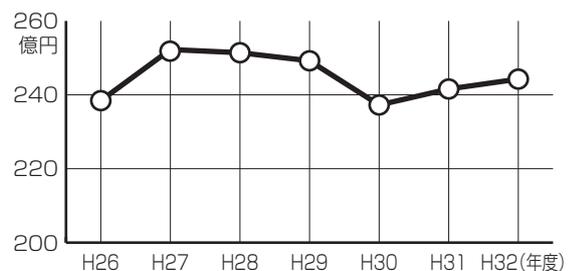


それでは市債の残高、基金の残高が今後どうなっていくのか見てみよう。

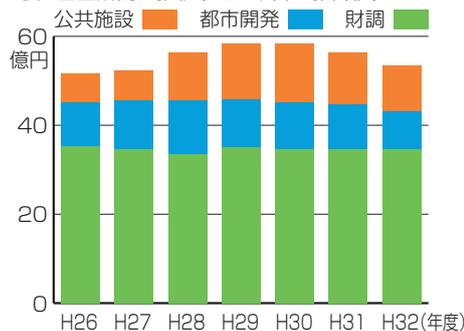


平成27年度末の一般会計の市債残高は、約252億円を見込んでいます。ここ数年の施設整備が一段落し、平成28年度以降は市債残高が減少しますが、平成31年度からは老朽化した公共施設の整備等に伴う起債により再び残高が上昇する見込みとなっています。

一般会計 市債残高の推移(H28以降は推計値)



主要3基金残高の推移(H27以降は推計値)



主要な3基金(財政調整基金、都市開発基金、公共施設等整備基金)の残高合計は、50億円台で推移する見込みです。平成27年度以降、平成30年度までは残高が微増となりますが、平成31年度からは老朽化した公共施設の整備に係る経費が増加することから、それに充てるために残高が減少することとなります。

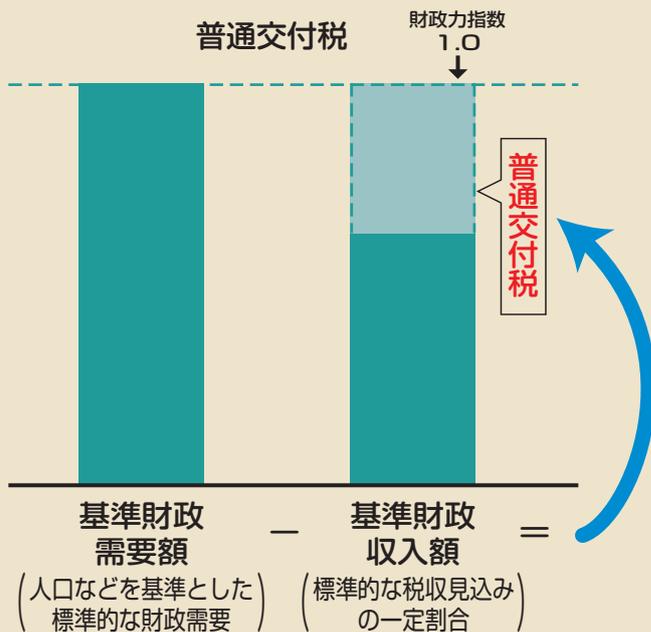
戸田市の財政規模からすると、災害の発生等、予期せぬ財政負担に備えて、基金残高をさらに確保していく必要があります。

## 第2章 戸田市は普通交付税をもらっていないけど…



### 「不交付団体」って何のこと？

日本では、全国どこに住んでいる人にも一定水準の行政サービスを提供できるよう、国から地方自治体に地方交付税というお金が配られます。税収は地域によってばらつきがあるので、自前の税収だけでは足りなくて、必要なサービスを提供できない自治体もあります。そこで、法人税や消費税など国の収入の一定割合を配ることで、地域ごとの格差をなくすのです。その地方交付税には、普通交付税と特別交付税の2種類があり、戸田市はそのうち普通交付税の方をもらっていない「不交付団体」です。



戸田市は、財源が足りているということで、普通交付税をもらっていないんだね。ちなみに、この計算方法は交付税を配分するためのもので、実際の歳入・歳出じゃないんだよ。



財政力指数とは

$$\text{財政力指数} = \text{基準財政収入額} / \text{基準財政需要額}$$

財政力指数とは、標準的な行政活動を行う財源をどのくらい自力で調達できるかを示した指標で、財政力指数が1.0未満の地方自治体には、普通交付税が交付されます。戸田市の平成27年度の財政力指数は1.198なので、普通交付税は交付されていません。



## 不交付団体って 財政的に余裕があるの？

不交付団体は、人口規模や面積に対して税収が豊かであると言えます。しかし、地方交付税と市税を加えた額で比較すると、必ずしも他市より余裕があるとは言い切れない部分があります。

市民1人当たりの決算額（平成25年度決算）



市税の収入だけで市民1人当たりの額を比較すると、戸田市は他市よりも多いですが、そこに地方交付税の額が加わると、高知県内11市や全国790市の平均に逆転されます。また、全国での順位を見てみると、地方交付税を合わせることで大幅に順位が下がることが分かります。

市民1人当たりの決算額の順位



このような逆転現象が起きる理由としては、人口の少ない市に対しては、行政運営の効率性が低下するとの観点から、地方交付税が手厚く交付されるということがあります。

そこで、戸田市と同程度の人口20市で比較すると、戸田市はほぼ平均レベルとなりました。20市の中には地方交付税が100億円を超える市が9市あり、中には200億円を超える市もありました。

このように、地方交付税が財政に与える影響はとても大きいものです。市税だけでなく、地方交付税を加えた収入で考えることも重要です。

単純に、不交付団体だから他市よりも余裕がある、というわけではないんだね。いずれにしても、集めた市税を大事に使うことが大切だね。



# 第3章 ファシリティマネジメントについて

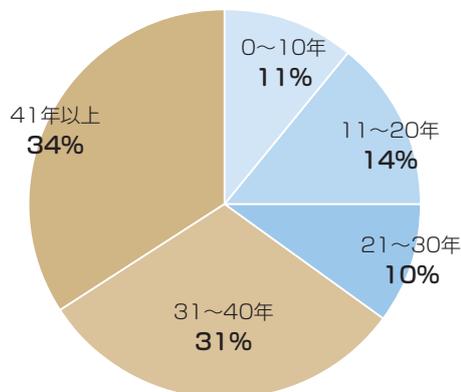
市内にある公共施設の多くは昭和40年代から50年代に建設されています。そのため公共施設の約3分の2が築30年を越えるなど、老朽化が進んでおり、その維持管理にかかる費用は大きな財政負担になると見込まれています。

今後も施設を安全に利用していくためには、建て替えや大規模な改修が必要ですが、それには莫大なコストがかかります。そこで、市では、今後の中長期的な財政状況を考慮した公共施設ファシリティマネジメントの推進に取り組んでいます。

公共施設の維持・運営・更新のためのコストは今後30年間で約3,000億円（年平均100億円）かかると試算されています。そして、30年間で施設建て替えのための財源が約138億円不足することが見込まれ、その場合施設の約20%は建て替えできないことになります。

この問題の解決に向けて、戸田市では「公共施設再編方針」と「公共施設中長期保全計画」を策定しました。

## ● 築年数別公共施設の割合



## ● 将来経費（今後30年間の概算値）

	平成24～53年度	年度平均
維持管理費	886億円	29.5億円
運営費	1,565億円	52.2億円
更新費	547億円	18.2億円
将来経費(合計)	2,998億円	99.9億円

この金額は、市の歳出額の約22%に相当。

## 公共施設再編方針

公共施設のあり方について、6つの「基本方針」と、施設種別ごとの「施設種別再編方針」を定めたもの。

**基本方針** 施設に係る全体的な方針

- 1 施設の有効活用
- 2 施設の効率的な維持管理・運営
- 3 市民の安全性の確保
- 4 サービスの効率化と質の向上
- 5 環境への配慮
- 6 市民参加

**施設種別再編方針** 基本方針に沿った再編を進めるため、施設種別ごとに、今後の方針を定めたもの。

## 公共施設中長期保全計画

安全性の確保と費用対効果に優れた対策を実施することを目的とし、長期計画(50年)、中期計画(5年)、実施計画(1年)を定めたもの。中期計画と実施計画は毎年度更新を行う。

**基本方針**

- 1 公共施設の質の確保
- 2 コストの削減
- 3 各年度の支出の平準化

# 公共施設等総合管理計画の策定を進めています。

公共施設等総合管理計画は、厳しい財政状況や将来的な人口減少等の状況を踏まえ、長期的な視点をもって、公共施設等の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減や平準化、公共施設等の最適配置、最適な管理運営の実現を目指すものです。計画期間は30年間で、平成28年度末までの策定を目指しています。

## (1) 維持管理基本方針 (ハコモノ・インフラ)

ハコモノ・インフラ施設について、中長期の財政見込みを踏まえた維持管理方針・手法を定める。

施設類型ごとの維持管理基本方針は、施設特性（施設量、計画策定状況）、管理実態、利用需要（利用量、人口見通し）、地域状況、取り組み効果（コスト縮減、サービス向上）、リスク（老朽化状況、点検未実施）等を勘案して定める。

## (2) 公共施設再編プラン

公共施設再編方針に基づき、市内公共施設の方向性を定め、中長期の再編プランを取りまとめる。

具体的な個別施設の取り組み方策の実施時期や事業優先度については、維持管理や事業運営にかかる費用（コストマネジメント）、建て替え及び大規模修繕を実施する時期（タイムマネジメント）、周辺施設の状況（エリアマネジメント）等を考慮し、総合的に判断して定める。



### 戸田市公共施設等総合管理計画策定に係る 市民意見交換会「まちのデザイン会」の様子



市民の皆さんと共に進めています。

Pick Up!

## 公共施設ファシリティマネジメントによる土地売却を行いました。

平成26年3月に廃止となった「軽費老人ホーム白寿荘」の跡地利用について、地域産業を活性化し、さらには「住工共存地」の地域性に配慮した企業誘致を進めるため、公募提案型による公有地の売却を実施しました。



実施にあたり、経営的な視点（コスト最小、効果最大）から、既存建物の解体条件を買受事業者に付すことによりコストの最小化を図り、さらに跡地の活用方法を広く公募し、地域の活性化に繋がる最も優良な提案を行った買受事業者へ売却することにより効果の最大化を図りました。

# 第4章 住みよいまちづくりへの取り組み

## 目指せ！健康寿命アップ！

健康寿命とは、日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる期間のことをいいます。市民の皆様がいつまでも健康に長生きできるよう、戸田市では健康寿命を長寿化させるための事業に取り組んでいます。

### 特定健康診査の受診を勧奨しています

#### 特定健康診査とは

生活習慣病の前段階としてのメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診を行い、メタボリックシンドロームまたはその予備群かどうかを判定します。

#### 特定健康診査の流れ(平成27年度実施分)

##### ①受診券が届きます

40歳以上の戸田市国民健康保険の加入者および後期高齢者医療の被保険者には、市から受診券を送付します(6月中旬頃)。

##### ②受診券を持って医療機関へ

特定健診受診券と保険証を持って、指定医療機関で受診します。受診費用は無料です。特定健康診査が受けられるのは受診券が届いてから10月末までの間になります。

##### ③健康診査の結果が出たら

健診結果によりメタボリックシンドロームのリスクがあると判断された国民健康保険加入者には、特定保健指導利用券が届きます。

戸田市では、健康づくりを応援するため、電話で特定健診の受診をお勧めするほか、戸田市役所庁舎内、ふるさと祭り、大型商業店舗内において受診勧奨キャンペーンを実施しました。



特定健診受診促進キャンペーンでは、血管年齢や脳年齢のチェック等を実施しました。

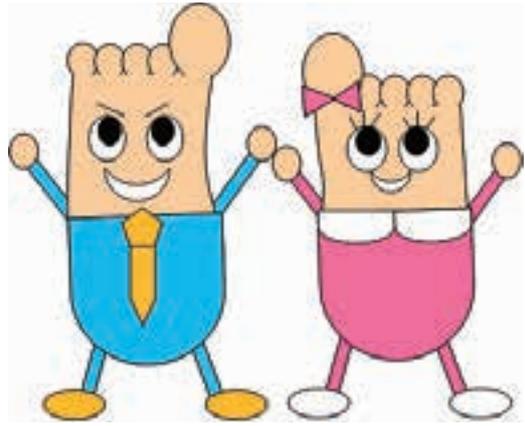


健診費用は無料だよ。健康を保つ第一歩、ぜひ受診しよう！



## 健康づくりポイント事業

30歳以上の市民、在勤者を対象として、3か月間(平成27年9月1日～11月30日)ウォーキング、体重測定、生活習慣の改善などに取り組んでいただくと、取り組み状況によってポイントが付与されます。3か月の記録を提出すると、事業に協力していただいたお礼として「地域通貨戸田オール」が渡されます。また、規定のポイントを達成した方の中から抽選で賞品が当たります。参加することで、生活習慣の見直し、運動習慣のきっかけ作りになります。(平成27年度の事業内容です。)



健康増進に関わるマスコットキャラクター  
「フックくん、フッチちゃん」

～参加者の声～

運動する習慣ができ、  
体力がついたわ

みんなが頑張ることで、  
医療費が安くなればいいな



いつまでも健康  
な自分であるた  
めに生活習慣の  
改善に取り組み  
ましょう。



福祉保健センター  
健康政策担当マスコット  
「ちっくりん」

## 特別会計への繰出金の縮減に向けて

国民健康保険特別会計への繰出金は近年増加しており、平成27年度予算では約20億円となっています。特別会計への繰出金を縮減することは、戸田市の財政的な課題のひとつです。健康寿命のアップは、医療費を抑制し、国民健康保険特別会計への繰出金の縮減につながります。

みんなが健康に  
なることで、医療  
費の抑制につな  
がるんだね!



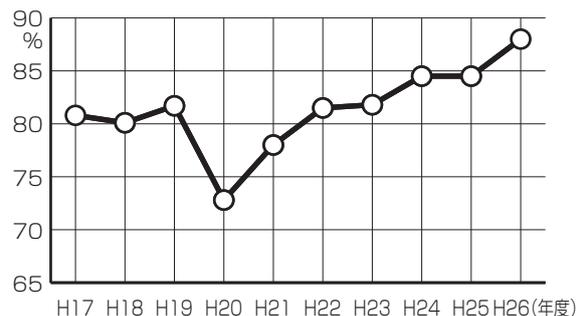
COLUMN  
コラム

## 戸田市の経常収支比率

経常収支比率とは、財政の弾力性を判断するための比率です。市税等の経常的な収入のうち、毎年固定的に支出される人件費、扶助費、公債費などの経費(経常的経費)に充てられた額の割合を示します。この比率が低いほど、財政に弾力性があり、独自の行政サービスが進めやすいとされています。

戸田市は、扶助費の増加等の要因により、この経常収支比率が上昇傾向にあります。平成26年度決算では88.0%となり、前年度(84.5%)と比べて3.5ポイント上昇しました。

経常収支比率の推移



## 補助金の積極的な獲得

国や県などからの補助金を受けることによって、少ない財政負担で事業を実施することができます。厳しい財政状況の中、戸田市は補助金を積極的に獲得しています。最近の事例を二つ紹介します。

### 彩湖・道満グリーンパークテニスコート改修事業



彩湖・道満グリーンパークのテニスコート改修は、平成26年度当初予算編成においては見送られていましたが、スポーツ振興くじ(toto)による助成金を獲得し、平成26年度中に補正予算措置することで、実施することができました。

補助金を獲得することで、できなかった事業ができた  
りすることもあるんだね。



### 消防車両の整備事業



消防車両の更新については、計画に基づき順次行っているところですが、平成27年度に更新を予定していた消防車両について、更新を一年前倒し、平成26年度中に補正予算措置をすることで、国庫補助金を獲得することができました。

補助金を獲得するの  
には、タイミングも関  
係するんだね。



COLUMN  
コラム

## 戸田市の健全化判断比率

**健全化判断比率とは** 健全化判断比率とは、財政状況を客観的に示す4つの財政指標です。戸田市の平成26年度決算の結果は以下のようになります。

指標	説明	財政再生基準	早期健全化基準	戸田市26年度決算
実質赤字比率	財政規模に対する一般会計などの赤字の割合 (戸田市は黒字のためマイナス表示)	20%	11.94%	黒字 -6.51%
連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合 (戸田市は黒字のためマイナス表示)	30%	16.94%	黒字 -14.44%
実質公債費比率	財政規模に対する1年間に支払った借入金返済額などの割合	35%	25%	3.6%
将来負担比率	財政規模に対する将来市が負担する見込みの債務残高の割合	—	350%	57.1%

この結果から戸田市は健全な状態にあると言えますが、将来負担比率は、市債残高の増加や基金残高の減少により、年々上昇してきています。

## 現在行われている事業をみてみよう

市では、平成23年度を初年度とする10か年のまちづくり指針、「戸田市第4次総合振興計画」を策定し、市民一人ひとりに戸田市に住むことの幸せを実感できるまちづくりを進めています。そこで、今、行われている主な事業について、ご紹介します。

### 上戸田地域交流センター「あいパル」

旧上戸田福祉センターは開設後40年以上が経過し、建物の劣化や市民ニーズの多様化などに対応するため、上戸田ふれあい広場に新設することとなりました。

新たな施設は、福祉センター機能・公民館機能・男女共同参画センター機能・図書館分館を統合させた複合施設であり、地域の交流拠点として、幅広い世代にわたって利用され、親しまれる施設を目指して平成27年9月に開館しました。



多くの世代の人が集える素晴らしい施設ですね。ここでは、建設コストがどれくらいかかったのかみてみましょう。

#### 【再整備にかかったお金の内訳】

事業費総額	19億706万円
一般財源(市税等)	1億6,306万円
公共施設等整備基金	3億3,000万円
市債	14億1,400万円

#### 市債の内訳

平成26年度借入	5億5,650万円	[利率:年1.00% 20年償還]
平成27年度借入	8億5,750万円	
うち26年度繰越明許分	5,050万円	[利率:年0.32% 10年償還]
うち27年度分	8億700万円	[利率:年1.00% 20年償還]

## どならない子育て練習法(そだれん)講座



どのように子どもをしつけたらよいかなど、具体的なしつけのスキルを効果的に身に付けるペアレント・トレーニングです。親子関係を改善することで、子どもを叱る（ときにはどなる、叩く）回数を減らすことを目指しています。

戸田市では、市民向けに講座(託児付き)を開催しています。

保育園等の整備(ハード事業)のほかに、講座による子育て支援(ソフト事業)も行ってるんだね。



## 「喫煙制限区域」の指定



平成20年6月1日から「戸田市ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」が施行されています。駅周辺は人の往来が多いことから、受動喫煙による影響や喫煙行為による危険を防止するため、平成27年6月1日から戸市内3駅周辺を喫煙制限区域に指定しました。

みんなが健康で気持ちよく暮らせるまちづくりを進めていきます。

### 【喫煙制限区域】

●：喫煙場所



## 市営自転車駐車場の改修工事

開設から30年を迎えた自転車駐車場の改修と増設工事を実施しています。

改修する部分は、古くなったフェンスと自転車ラックの入れ替えです。特に、自転車ラックは「間隔が狭く出し入れが困難」との声を受け、スライド式ラックを導入しました。また、安全でスムーズな入出庫のため、出入口には機械式ゲートを採用しました。

戸田駅の北側に新たに「戸田駅北第2自転車駐車場」を開設するほか、既設の北戸田駅北自転車駐車場を2階化して、収容台数の増加を図ります。



改修前の北戸田駅北自転車駐車場(2階化予定箇所)



使いやすい自転車駐車場になるんだね！

## 新曽中央水辺のスポット



新曽中央地区では、平成23年度に「地区まちづくり協定」を策定したことで、まちづくりのルールが定まりました。現在では、地区まちづくり協定に基づき、道路や公園等の整備を進めるのに併せて、下水道などの整備も進んでいます。平成27年度からは「笹目川沿いの水辺のスポット」と「シンボル道路の一部」の整備を実施しています。今後も、地域住民の皆様の意見を反映しながら、本地区のテーマである「水に親しみ緑あふれる、歩いて楽しいまち」に沿った事業を進めていきます。



## 笹目川左岸プロムナード

景観づくり推進地区の指定に合わせ、笹目川左岸では、管理用道路を利用した形でのプロムナード(遊歩道)の整備を実施しました。水辺に親しめる快適な空間として、市民の集う新たなスポットとして期待されます。



## 「スケアード・ストレイト教育技法」による自転車交通安全教室

スケアード・ストレイトとは、プロのスタントマンが交通事故をリアルに再現し、参加者は交通事故の“恐怖”を仮想体験することによって、どのような行為や状況が危険なのかを学ぶための教育技法です。

目で見て、肌で感じて、そして原因と防止策を考える。交通安全教育として有効性が高く、近年クローズアップされています。

平成27年度は、市内の6中学校と2高等学校、そして市民を対象として全9回のスケアード・ストレイトを実施しました。



安全運転を  
心がけましょう。



# おわりに

最後までお読みいただき、ありがとうございました。なるほど!と少しでも思っただけであれば幸いです。

本文中でもお伝えしましたように、戸田市は現在、非常に厳しい財政状況にあります。そのような中、老朽化した公共施設の改修・建て替えや社会保障関連経費の増加に引き続き対応していかなければなりません。

市が単独で行っている事業の見直しの推進、健康づくりによる医療費の抑制や、補助金の積極的な獲得等、各担当課が工夫を凝らして事業を行っています。

## 「幸せを実感できるまち」

これからも戸田市は、この実現のために全力で取り組んでいきます。

戸田市財政課のホームページで中期財政計画や予算書を掲載しています。

興味を持たれた方はぜひご覧ください。

アクセスは [戸田市情報ポータル](#) > [組織から探す](#) > [財政課](#)

<http://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/171/>

# 「市民医療センター」のご案内

明るく利用しやすい空間で「安心」の医療を

1階

## 外来部門

内科 小児科 循環器内科 耳鼻咽喉科  
消化器内科 神経内科 整形外科



診察室

2階

## 入院・リハビリ部門

19床あるベッドのうち1床は、特別個室です。  
個室の差額ベッド代は、1日につき市内居住者  
5,400円、市外居住者8,640円です。



個室



リハビリ室

※内科、小児科以外は診療科目により診療日が決まっており、一部は予約制です。詳しくはお問い合わせください。

## 「安心」「安全」「安定」な医療を 市民に提供していきます

- 機能的で利用者に分かりやすい、ワンフロア完結型の医療センター
- 市内唯一の公的医療機関として、地域住民のニーズに応える医療を提供
- 高齢者の救急患者の受け入れを実施
- 災害時の医療拠点として、市民が安心して暮らせるまちづくりに貢献

### 市民医療センター

所在地 戸田市美女木4-20-1  
電話 048-421-4114

交通 機関	国際興業バス 西川口ー北戸田線 市民医療センター下車
	コミュニティバス(美笹循環) 市民医療センター下車
受付 時間	月曜日 午前8時30分～11時30分、午後2時～5時
	火曜～金曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～5時
	土曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～4時
	予防接種 月曜・水曜・金曜日 午後2時～5時(予約制)
休診	日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
駐車場	28台

